

イルカと泳いだよ

夏休みの終わりに香川県さぬき市の日本ドルフィンセンターに行きました。

妹とウェットスーツに着替えて体験者みんなで準備体操をしました。インストラクターから教えてもらった約束事は、「イルカの顔はさわらないこと、イルカをたたかないこと、グーではなくパーで触ること」でした。いよいよライフジャケットを着て、深い海をイルカがいるところまで得意の平泳ぎで行きました。妹はイルカがこわかったので、インストラクターにだっこしてもらっていました。私は、イルカの背びれ、背中、おなか、しっぽを触りました。つるんつるんでぶにぶにのところもありました。イルカと水をかけ合って遊びました。ピーピーと楽しそうに歌も聞かせてくれました。最後に、イルカの背びれをもつて一周回ると時は顔に水がかかって目が開けられなかつたけど、すごく気持ちよくて最高でした。



(上川口小学校 5年 深木 希音)

いねかり

ずっと楽しみにしていた、いねかりの日がついにやってきた。田んぼを見て、「よし、がんばろう」と言った。小谷さんがコンバインに乗って、いねかりをして

いるすがたが見えた。ぼくとけんご君が、「はや。やばすぎだろ」と言った。本当におどろいた。ぼくたちも負けられないと思った。いねかりをがんばり、かまの使い方が上手になってきたので、1回で2束とれるようになった。何束もとれた。カエルがびよんびよんにげていて、わらった。けんごくんが、「もうちょっとで終わる」と言った。さらにいねかりをがんばった。ぼくはコンバインに乗りたいなと思った。小谷さんがみんなに「止まって」と言った。けんご君が、「1人1人コンバインに乗せてくれる」と言った。「やった、早く乗りたい」と思った。ぼくの番が来た。ハンドルが重くて、操作が難しかった。来年もコンバインに乗って、田んぼのいねを全部かりたい。



(拳ノ川小学校 5年 坂本 聖波)

佐中生学習ボランティア

佐賀中学校では夏休みが始まると、小学校の加力学習にあわせて、中学3年生が学習ボランティアとして勉強を教えます。今年は9日間の日程で行われました。

私は学習ボランティアをして、小学生に勉強を教えることはすごく難しいと思いました。同じ学年の友だちに教えるときは公式や方程式、文字などが使えますが、小学生に教えるには、限られた言葉のなかで簡単に分かりやすく教える必要があります。小学生に理解してもらえないときは困ってしまいましたが、上手に教えることができたときや分かってもらえたときはとてもうれしかったです。そして、難しい問題が解けたときや100点が取れたときにガッツポーズをして喜んでいた姿は本当に可愛かったです。それを見て、頑張つて教えて良かったなと思いました。この学習ボランティアを通して、教えることの難しさや大切さを知ることができました。だからこれから妹にもたくさん教えることができたらいいと思います。



(佐賀中学校 3年 大谷 咲那)